

「第4回<七十七>地方創生マッチングイベント」
～企業版ふるさと納税の活用に向けて～を開催しました

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、当行が事務局を務める「みやぎ広域PPPプラットフォーム」（通称：MAPP）の活動の一環として、地方創生応援税制（通称：企業版ふるさと納税）の活用促進を目的に「第4回<七十七>地方創生マッチングイベント（以下「本イベント」といいます。）」を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。
当行は、今後も官民連携の取組みを通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

記

1. 開催概要

開催日時	2023年1月18日（水） 午前の部：10:30～12:00 午後の部：13:00～16:30
主催	当行（みやぎ広域PPPプラットフォーム事務局）
後援	復興庁宮城復興局
開催方法	現地会場およびオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催
参加者	地方公共団体：31団体（延べ54団体）、約110名（うち現地参加90名） 民間事業者：130社、約260名（うち現地参加170名）計約370名
プログラム※1	○企業版ふるさと納税の活用促進に向けた基調講演 ○地方公共団体13団体※2の首長等によるプレゼンテーション ○地方公共団体と民間事業者による名刺交換会

※1. 詳細は別紙1をご参照ください

※2. 仙台市、石巻市、亶理町、松島町、利府町、女川町、山元町、白石市、角田市、名取市、村田町、加美町、岩沼市（プレゼンテーション順、各地方公共団体の概要は別紙2参照）

2. みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP）の取組みについて

当行が事務局を務めるMAPPでは、毎年様々なイベントを通じて、地方公共団体の皆さまが抱える課題の解決に向けた取組みを継続しています。

今年度は、**持続可能な未来の実現に向けた「地域づくり」・「人づくり」・「イノベーション」による各地域課題の解決およびSDGsへの貢献**をコンセプトに掲げて活動してまいりましたが、2023年度以降も、地域の活性化に向けた各種ソリューションを提供してまいります。MAPPの活動にかかるご相談・ご要望等は以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。

七十七銀行 地域開発部 地域開発課 地方創生推進デスク
TEL：022-211-9804（直通）

3. M A P Pの活動実績について

〈2021年度〉

- 5月 ・「第2回〈七十七〉地方創生マッチングイベント」個別相談会の追加開催
(民間事業者、地方公共団体等 35団体／94名が参加)
- 7月 ・「第1回テーマ別勉強会～住民ファーストに向けて～」の開催
(民間事業者、地方公共団体等 62団体／109名が参加)
- 11月 ・「第2回テーマ別勉強会～住民ファーストに向けて～」の開催
(民間事業者、地方公共団体等 59団体／156名が参加)
- 1月 ・「第3回〈七十七〉地方創生マッチングイベント」の開催
(民間事業者14社／約34名、地方公共団体39団体／約80名が参加)

〈2022年度〉

- 4月 ・「PPP／PFIセミナー」への協力 <主催:七十七R&C(株)、(株)日本経済研究所>
(民間事業者、地方公共団体等 35団体／82名が参加)
- 5月 ・「SDGs推進セミナー～カーボンニュートラルの推進に向けて～」の開催
(民間事業者、地方公共団体等 56団体／109名が参加)
- 8月 ・「第3回テーマ別勉強会～カーボンニュートラル・自治体DXの推進に向けて～」の開催
(民間事業者、地方公共団体等 約100名が参加)
- 1月 ・「第4回〈七十七〉地方創生マッチングイベント～企業版ふるさと納税の活用に向けて～」の開催
(民間事業者130社／260名、地方公共団体31団体／110名が参加)

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以上

(別紙1)

開催内容の詳細

1. カリキュラム

午前の部 (10:30~12:00)
(1) 基調講演① 講演者：内閣府 タイトル：「企業版ふるさと納税について」
(2) 取組事例紹介 講演者：熊本県 タイトル：「熊本地震震災ミュージアム事業での企業版ふるさと納税の活用」
(3) 基調講演② 講演者：内閣府企業版ふるさと納税マッチングアドバイザー タイトル：「自治体における企業版ふるさと納税活用」～『共感』で“行動”する社会～
(4) 当行講演 講演者：七十七銀行地域開発部 タイトル：「七十七銀行の支援策について」
午後の部 (13:00~16:30)
(1) 宮城県からの挨拶 登壇者：宮城県副知事
(2) 基調講演③ 講演者：復興庁宮城復興局 タイトル：「宮城県の復興の概要」
(3) 地方公共団体からのプレゼンテーション プレゼン者：地方公共団体13団体の首長等
(4) 名刺交換会 プレゼンテーションを実施した地方公共団体がブースを設置し、参加した全ての民間事業者と名刺交換を実施

2. 参加者の声

地方公共団体の感想 (一部抜粋)	民間事業者の感想 (一部抜粋)
<ul style="list-style-type: none">・企業版ふるさと納税の可能性について知ることができた・アドバイザーの講演が、自治体の目線から各ポイント・要点を絞った丁寧な説明で良かった・制度活用にあたっての手法、規模等をイメージできた	<ul style="list-style-type: none">・各首長様のプレゼンに個性があり、興味深く参加できました・多くの自治体の情報を一度に聞ける機会は重要と感じました・首長様の熱意を感じました・各市町村様の特徴を掴むという観点から大変有意義でした

3. プレゼンテーションの概要

発表者	【仙台市】藤本副市長	発表者	【石巻市】齋藤市長
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナノテラス ・ 東北の広域連携の推進 ・ 子供の遊びの環境充実等 	P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災伝承事業 ・ 創業支援補助事業
			 いしぴょん
発表者	【亘理町】山田町長	発表者	【松島町】櫻井町長
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亘理町まち・ひと・しごと創生推進事業等 	P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松島イノベーションヒルズの挑戦
	 わたりん		 どんぐり松ちゃん
発表者	【利府町】熊谷町長	発表者	【女川町】須田町長
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな文化創造プロジェクトスポーツによるまちづくり 	P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年国際交流推進事業「女川サマースクール」
	 リーフちゃん		 シーパルちゃん
発表者	【山元町】橋元町長	発表者	【白石市】山田市長
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台藩・伊達家ゆかりの茶室整備事業 	P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもカガヤキプロジェクト
	 ホッキーくん		 ポチ武者 こじゅーろう

発表者	【角田市】黒須市長	発表者	【名取市】山田市長
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民カプロジェクト ・子育て支援プロジェクト等 	P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て教育先進都市を目指した取組み ・移住定住促進に向けた取組み
	 むうひめ		 カーナくん
発表者	【村田町】大沼町長	発表者	【加美町】猪股町長
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・重伝建の蔵の町並み「修理・活用・集客」プロジェクト 	P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・夢をカタチにクリエイティブ力で地方創生
	 くらりん		 かみ〜ご
発表者	【岩沼市】佐藤市長		
P R 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港周辺地域活性化施設 （〔仮称〕空の駅、ハナトピア 岩沼リニューアル） 		
	 岩沼係長		

以 上

【仙台市】

〈当地の概要〉

人口	1,099,239名 (うち男性532,303名、女性566,936名、平均年齢46歳)
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ケヤキ並木 ➤ 仙台城跡(伊達政宗騎馬像)
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 仙台七夕まつり ➤ SENDAI光のページェント
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 牛タン焼き ➤ 笹かまぼこ

〈当市町村の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

集中支援対象企業数 / 域内企業間取引件数 / 市内宿泊者数
 誘致企業数 / 大学生等の地元定着率 / 保育施設等の利用定員
 安心して子育てができる社会づくりを評価する市民の割合
 温室効果ガス排出量 / 災害対策や防災対策を評価する市民の割合
 住みやすさを評価する市民の割合 / 住み続けたいと考える市民の割合

写真：仙台市観光課



【PRしたい取組事業の概要】

〈次世代放射光施設関連産業振興事業〉

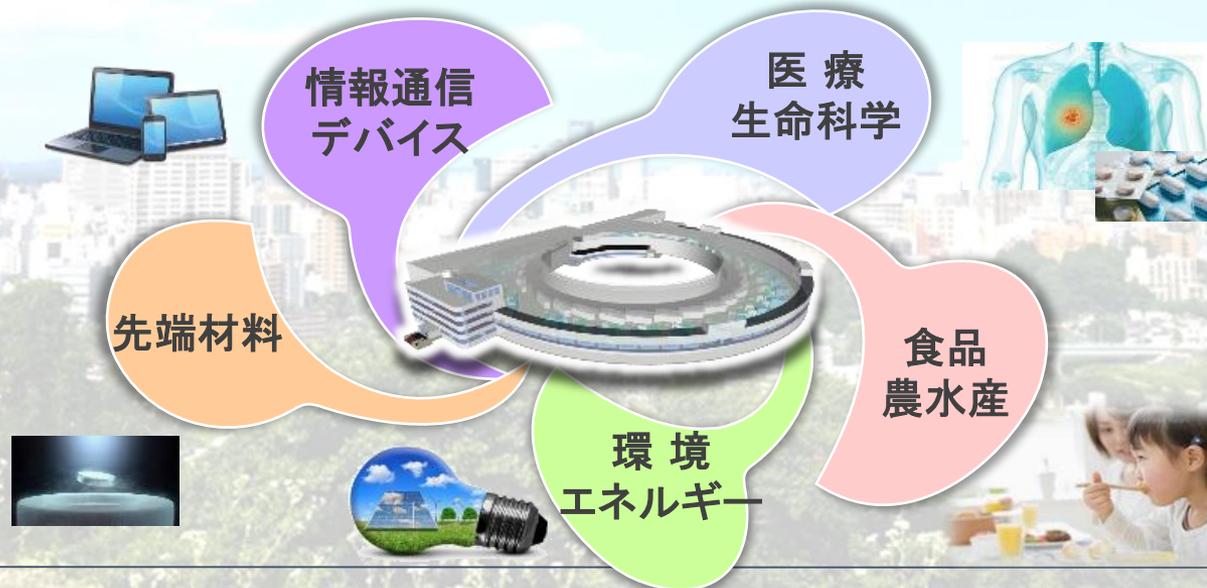
事業の背景

次世代放射光施設(ナノテラス)は、物質をナノレベルで分析可能な世界最高水準の研究施設として、東北大学青葉山新キャンパス内に建設が進められている。創薬や医療技術、省エネや環境保全、食品など幅広い分野での応用が期待されている。
令和6年度からの本格稼働に向け、現在整備を進めている。

事業の目的 ・内容

本市では、関係機関と連携しながら、施設周辺に研究開発拠点や関連企業が集積する「リサーチコンプレックス」の形成を目指して、研究開発施設や企業の立地・集積促進、地場企業等の利活用促進に向けた普及啓発などに集中的に取り組んでいる。

次世代放射光施設の立地を仙台・東北の産業におけるイノベーションや付加価値創出につなげ、新産業の創出等を通じて豊かな未来社会の実現を目指す。

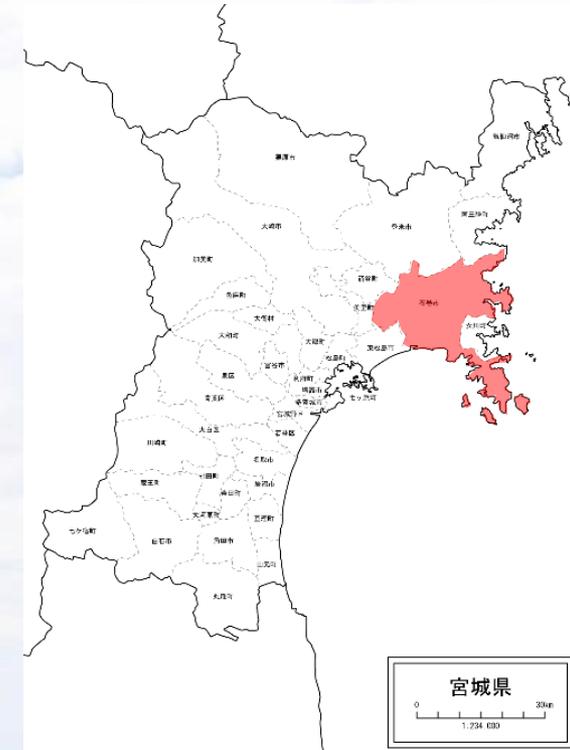


【石巻市】

〈当地の概要〉

人口	137,027名（令和4年11月末日現在） （うち男性66,578名、女性70,449名）
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 金華山、田代島、網地島、石ノ森萬画館、 ➤ 日和山公園、渡波海水浴場、釣石神社 など
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 石巻川開き祭り、いしのまき大漁まつり、 ➤ Reborn-Art-Festival、ツール・ド・東北 など
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 金華さば、笹かまぼこ、たらこ、アナゴ、牡蠣、 ➤ ほや、ほたて、石巻焼きそば など

〈当市の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉 ※KPIはいずれも単年での数値

KPI	現状値	目標値（令和7年度）
新規雇用創出人数	77人	120人
社会移動増減数	▲712人	▲317人

日本遺産「みちのく
GOLD浪漫」
金華山詣・金華山道



石巻川開き祭り



石巻市の特産品など



【PRしたい取組事業の概要】

〈震災伝承事業〉

〈創業支援補助事業〉

事業の背景

東日本大震災の教訓を語り継ぐため、被災した門脇小学校・大川小学校を震災遺構として公開。

今後も人口減少及び少子高齢化が進行することが予測されているほか、雇用のミスマッチなどによる若い世代の市外への流出が続いている。

現状の課題

震災遺構の周知及び長期的な運営に係る財源確保。

担い手不足の解消に向けた、産業を支える就業人口の確保及び魅力ある新たな産業づくり。

事業の目的

東日本大震災をめぐる事象と教訓を後世に伝え継ぐとともに、災害から命を守るための避難行動や、平時における訓練の重要性、地域を知ることの大切さを学んでもらう。

市内において新たに創業等する者を支援することで、開業率向上による産業の活性化及び雇用の確保を図る。

事業の内容

震災の事実・教訓を将来に渡り伝え継ぐための展示コンテンツの更新や、震災遺構を訪れた方が安全・安心して見学できるよう施設の維持管理を行う。

これからもしくは1年以内に創業等した個人事業主・法人等に対し、創業等に要する経費の補助を行うほか、創業に必要な知識を身につけるためのセミナーを開催。

▶
門脇小学校
震災遺構



▶
大川小学校
震災遺構



▶
創業希望者向け
セミナーの様子



【 亶理町 (わたりちょう) 】

〈町の概要〉

人口	33,284名 (うち男性16,359名、女性16,925名) ※令和4年11月末時点
名所・旧跡	➤ 鳥の海公園スケートボードパーク、悠里館、 わたり温泉鳥の海、伊達成実公霊屋
祭り・行事	➤ わたりふるさと夏まつり、水産まつり、伊達 な亶理まるごとフェア
特産品	➤ はらこめし、いちご、春菊、りんご

〈町の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

K P I	現状値(2021年度)	目標値(2024年度)
町内法人の従業員数	7,350人	7,500人
観光客入込数(年間)	632,514人	1,000,000人
出生数	177人	245人



宮城県亶理町(わたりちょう)

亶理町まち・ひと・しごと創生推進事業

本町の人口減少克服と地方創生を実現するため3つの基本目標を掲げております。将来にわたって活力ある社会を維持するため、寄附を通じたまちの活性化を応援していただける企業様を求めています！

基本目標1 産業振興 産業振興を図り、安定した雇用と活力あるまちを創る

農水産物のブランディングの確立／体験型観光拠点の開発整備／若い世代の就農・就漁者への支援／産学官連携による新事業開発・起業支援／コワーキングスペース、サテライトオフィスの整備・提供 など

基本目標2 交流人口拡大 交流人口の拡大を図り、それが定住促進につながるまちを創る

観光イベントを活用した交流の充実／地域資源(ひと・もの・景観)発掘による“まち魅力”の構築／広域連携によるスポーツイベントの開催／宿泊を中心とした滞在型交流機能の整備／町内に不足する施設の充実・バリアフリー化／ICT技術などを活用したインフォメーションサイト等の構築・運用 など

基本目標3 子育て支援 若い世代が定住し、結婚・出産・子育てを安心してできるまちを創る

ニーズに対応した保育施設の確保・整備／不妊治療への支援／質の高い幼児教育(幼稚園)・保育(保育所)・地域子育て支援・家庭教育支援の推進／健やかな子どもの成長を支える切れ目のない支援 など



【連絡先】 亶理町役場 企画課

電話番号：0223-34-0505 メールアドレス：kikaku1@town.watari.miyagi.jp

【松島町】

〈当地の概要〉

人口	13,354名（うち男性6,480名、女性6,874名） ※令和4年11月末現在
名所・旧跡	➤ 瑞巖寺、五大堂、観瀾亭、円通院、雄島、 富山観音堂、西行戻しの松公園 etc
祭り・行事	➤ 松島流灯会海の盆、松島紅葉ライトアップ、 瑞巖寺大施餓鬼会、松島かきまつり etc
特産品	➤ かき（牡蠣）、あなご、焼きハゼ、松島直秀こけし、 松島こうれん、松島トマト etc

〈当市町村の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

KPI	現状値	目標値
産業系土地利用の推進	0地区	1地区
転入率	2.0%	8.5%



【利府町】

〈当地の概要〉

人口	35,983名（男17,738名、女18,245名）※R4.12現在 平均年齢45.47歳 ※R2国勢調査より
名所・旧跡	➤ ●日本三景の一角「表松島」-馬の背- ➤ ●新幹線総合車両センター
祭り・行事	➤ ●ALL利府産業祭 ➤ ●利府梨販売会
特産品	➤ ●利府梨 ➤ ●かき、わかめ等

〈当市町村の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

K P I	現状値	目標値
社会増減数	▲153人	798人



【PRしたい取組事業の概要】

《 新たな文化創造プロジェクト ～スポーツによるまちづくり～ 》

事業の背景

- ・ 東日本大震災からのハード面での復旧は完了
- ・ 2002FIFAワールドカップ、東京2020オリンピックサッカーなどの開催地として「スポーツの町利府町」を発信してきた。

現状の課題

- ・ これからの復興には人間性の回復に向けた「新たな文化創造」が必要
⇒ 規定概念にとらわれない新たな取組へのチャレンジのための財源確保
⇒ 「わくわく感」をいかに町民と共有していくか、拡大していくか

事業の目的

- ・ 将来的な「市制移行」に向け、新たなスポーツ文化等を創出し、更なる町の魅力向上を図ることで、交流人口・関係人口の拡大や地域活性化へとつなげる。

事業の内容

- ・ 公道ラリー、スポーツ流鏝馬などの大会・イベントの開催
- ・ 「女性アスリートを応援するまち」の推進・PR
- ・ スポーツを「する」「みる」「ささえる」組織の育成、スポーツ交流拠点づくり



〈当地の概要〉

人口	5,997名（うち男性2,966名、女性3,031名） 3,025世帯（令和4年11月30日時点）
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ●初日の出を展望できる女川駅前広場 ➤ ●町の大部分が三陸復興国立公園に指定されている
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ●おながわ四季の祭り（春のまつり、みなとまつり、秋の収穫祭、冬のまつり）
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ●サンマ（今年3年ぶりに秋の収穫祭を開催） ➤ ●笹かまぼこ

〈当市町村の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

KPI	現状値		目標値
	震災前	震災後	
入込観光客数	743,350人 (H21年度)	467,061人 (R1年度)	750,000人
女川町民会議参加者数	-	-	200人



〈青少年国際交流推進事業 一般社団法人HLAB「サマースクール」助成事業〉

事業の背景

活動人口の増加を目指す女川町と、若者の社会性や勤労観の醸成を目指す（一社）HLABはお互いの目的が一致し、本事業を実施してきた。

現状の課題

事業を継続していく上で、その財源の確保が大きな課題となっている。

事業の目的

【キャリア教育】

・高校生に「国境も言語も世代も超えた多様な出会い」を通じて、自己を見つめ直し将来を真剣に考える機会を提供する。

【町のブランディング】

・海外をはじめ、町外からの学生等に、町内の生徒や地域の方々との交流及び体験プログラムを実施。
・将来、女川町と参加者が繋がりを持ち、町に活力をもたらすことも期待する。

事業の内容

- ・実行委員会形式で開催。一般社団法人HLABが主幹となり、国内・海外の大学生がメンター（講師）として参加。
- ・高校生は県内外から50～60人程度を見込む。
- ・6泊7日程度のサマースクール。英語で学ぶ少人数講座や大学生メンターによるセミナー、地域の社会人によるフォーラム、など。



【山元町】

〈当地の概要〉

人口	11,728名（うち男性5,812名、女性5,916名） ※R4.12.31時点
名所・旧跡	▶ 町指定文化財「茶室」、「蓑首城大手門」、 「板倉」 ▶ 農水産物直売所「夢いちごの郷」
祭り・行事	▶ やまもとひまわり祭り
特産品	▶ いちご、りんご、ホッキ貝、シャインマスカット、 東日本復興芝

〈地域再生計画における数値目標等〉

項目	基準値 (令和元年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)
交流人口	550,000人	822,085人	1,000,000人

〈当町の位置〉



郷土料理「ほっきめし」



農水産物直売所「夢いちごの郷」



町の特産品「いちご」

仙台藩 伊達家ゆかりの茶室整備事業

事業の背景

山元町所在の建造物「茶室」は、天保3(1832)年に仙台藩伊達家の重臣 ^{おおえだ}大條家が伊達家から拝領した茶室です。昭和7(1932)年、仙台から現在地に移築されました。仙台藩の上級武士層が所有した茶室で県内唯一現存する建物であり、極めて貴重です。町では、この茶室を後世に遺すため、平成14年に町指定文化財に指定し、公有化を行いました。そうした中、平成23年の東日本大震災により町全体が被災し、「茶室」も大きな被害を受けましたが、町民の生活再建を優先した結果、その整備は一旦保留となりました。11年余りが経過した現在、建物の存続すら危ぶまれる状態となっています。

現状の課題

度重なる地震や今般の物価上昇の影響により、整備費用が当初よりも肥大化しており、「最低限の建物修復」のみで約7千万円が見込まれています。加えて、修復後の利活用に必須となる「庭園整備やトイレ・水屋」などの経費についても今後必要となることから、いかに財源を確保するかが喫緊の課題となっています。

事業の目的

仙台藩茶の湯文化を伝える県内唯一の茶室を保護し、その積極的な利活用が図れる整備を実施することで、歴史・文化を学べる教育施設、さらには町の交流拠点施設として利用することを目的とします。

事業の内容

建物修復、庭園整備、便利施設(トイレ、水屋、駐車場)整備、茶室の特性を活かした事業を実施します。



移築前の仙台にあった頃の茶室（大正8年）



震災で被害を受けた茶室（平成23年）



茶室修復後のイメージ図

【白石市】

〈当地の概要〉

人口 (R411.30現在)	32,018名 (男性15,783名,女性16,235名)
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 白石城 (江戸時代の姿を忠実に復元した準木造の建築) ➤ 鎌先温泉・小原温泉 (傷に鎌先、目に小原)
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 【春】白石市民春まつり・全日本こけしコンクール ➤ 【夏・秋】白石夏まつり・鬼小十郎まつり
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 白石温麺・弥治郎こけし・白石産ササニシキ ➤ Hybrid スーパーマルチアイス (ふるさと納税さとふるアイスジェラート部門第1位)

〈当市町村の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

K P I	現状値 (R元年度)	目標値 (R7年度)
出生者数	135人	150人
シビックプライド割合	27.7%	60%



〈沢端川 (武家屋敷付近) の堀割〉



〈鬼小十郎まつり〉



〈こじゅうろうキッズランド〉 15 / 26

【PRしたい取組事業の概要】

〈次世代こどもカガヤキプロジェクト〉

事業の背景

まちづくりに対する市民アンケート調査を実施（令和元年7月調査）
重要度が高いのに満足度が低い項目に「**地域の医療**」「**子育て環境**」

現状の課題

白石市の総人口は、昭和60年（1985年）をピークに減少。人口減に歯止めをかけるため、子育て支援や学校教育充実などの施策を展開

事業の目的

そもそも出産できる病院が近くにないと地域に人が残らない
「**特色のある子育て支援策**」かつ「**周産期医療体制の再構築**」が急務

事業の内容

- ①東北初の小中一貫不登校特例校新設
- ②教育改革のさらなる推進
- ③周産期医療体制の再構築



多様な学びの場の環境をつくりたい



教育改革のさらなる推進



周産期医療体制を再構築したい

【角田市（かくだし）】

〈角田市の概要〉

人口	27,329人（年少人口：2,640人、生産年齢人口：14,497人、高齢者人口：10,192人）※R4.11.30現在
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 勝楽山高蔵寺(国指定重要文化財) 県内最古の木造建築物 ➢ H-IIロケット実物大模型、スペーススター・コスモハウス
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➢ かくだ牟宇姫夏まつり、うめ～梅まつり、ずんだまつり、宇宙っ子まつり、はやぶさまつり、菜の花まつり など ➢ 阿武隈リバーサイドマラソン
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 米、豆（秘伝豆）、梅（昔ながらの梅干し） ➢ 仙南シンケンファクトリー クラフトビール

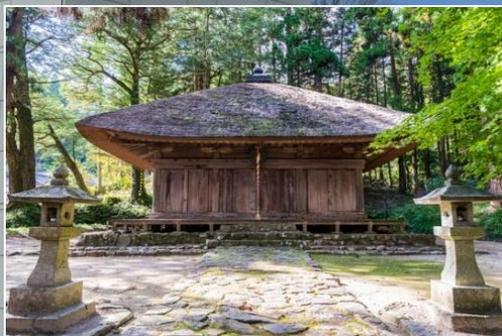
〈角田市の位置〉



〈地域再生計画における数値目標（抜粋）〉

KPI	現状値	目標値（2024年度）
誘致企業数	—	2社
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	89.6%	91.4%
交流人口	1,072,935人	170万人

〈かくだの5つの“め”〉 米・豆・梅・夢・姫



【角田市の寄附対象事業の概要】

〈市民カプロジェクト〉

〈子育て支援プロジェクト〉

〈地域資源フル活用プロジェクト〉

事業背景

人口減少が避けられない現状において、「地域にある課題について主体的に取り組む市民の行動力」即ち「市民力」の醸成を重視するもの。

宮城県内でも角田市の出生率は低位にあり、少子化が加速しているため、子育て支援施策を講じ、本市の子育て環境の向上を図るもの。

農業、Kスポ、JAXAなど、多くの地域資源の魅力を引き出し、連携・協力することで、さらなる賑わいの創出・地域経済の好循環を生み出すもの。

現状課題

- まちづくりに積極的な人材育成
- 市民力を発揮できる環境づくり
- 多様な主体との連携強化

- 子育て世代へのサポート
- 子どもの遊び場の整備
- 学力・教育環境の向上
- 周産期医療の確立

- 魅力的な産業の振興
- 企業誘致活動の推進
- 廃校施設、既存施設の利活用
- スポーツを通じたまちづくり

事業内容

【かく大學】

市内をまるごとキャンパスに見立てた仮想大学を構築し、年齢や立場を越えて、プロジェクト型や対話などを通じた新しい学びの場を創造する。すべての人が自分の個性や能力を活かして生き生きと輝く未来を目指す。

【高校生地域探求活動支援事業】

高校生が自らのテーマを見出し、地域・社会について自分事と捉え、主体的なアクションやチャレンジなどによる探求的な学びを支援するもの。未来を創る人材育成と還流を生み出す、新たな事業を展開する。

市民力咲き誇る。角田市

安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち



【はっぴい子育て助太刀プロジェクト】

子育て世代の経済的負担の軽減や保育需要に対応するため、令和5年度より以下の事業の実施に向けて検討中。

- 出産祝給付金の拡充、小学校入学時に子育て応援券の支給
- 第2子以降の保育料の無償化
- 小規模保育施設の新設
- 市内小中学校の第2子以降の児童生徒の学校給食費の無償化

【図書館資料充実事業】

読書習慣をたくさんの人に身につけてもらうため、各世代の要望や市民の学習意欲の高まりに応じた蔵書の充実に努め、乳幼児から高齢者までの各世代への図書館サービスの充実を図る事業。特に、子ども図書館を中心とした絵本や児童書、中高生向け図書書の充実を図るもの。

【道の駅を活用した地域経済の活性化】

道の駅かくだを交流拠点とした農業体験ツアーなどの各種ツーリズム事業の展開により賑わいを創出するもの。

【スポーツによるまちづくり】

Kスポを拠点とした「する・みる・ささえるスポーツ」を推進し、散歩や清掃などの日常における身体活動も推進することで、スポーツの振興に加え、スポーツによる地域課題の解決を図る。

【廃校施設の利活用】

少子化の進行に伴い、市内小中学校の統廃合が進んでおり、5つの廃校施設の利活用について、検討が急務となっている。

【名取市】

〈当地の概要〉

人口	79,610名 ※令和4年11月末現在 (うち男性39,153名、女性40,457名)
名所・旧跡	➤ ●名取市サイクルスポーツセンター、かわまちてらす ➤ ●雷神山古墳、名取熊野三社
祭り・行事	➤ ●なとり三大まつり(春まつり、夏まつり、秋まつり) ➤ ●なとり文化芸術祭
特産品	➤ ●せり、せり鍋 ➤ ●赤貝、しらす

〈当市の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

KPI	現状値	目標値 (R6年度)
出生者数	718人	725人
年少人口(15歳未満)	12,124人	13,200人



<サイクルスポーツセンター>



<なとり夏まつり>



<せり>

【PRしたい取組事業の概要】

〈 子育て支援の充実 〉

事業の背景

本市は子育て教育先進都市を目指し、高校3年生まで医療費助成を拡充し、学校給食費の段階的無償化など、子ども子育て事業に対し重点的に取り組んでいる。「愛されるふるさとなとり」の実現と、持続可能なまちづくりに向け、少子化対策や移住定住の取組みを推進している。

現状の課題

全国的に人口減少・少子高齢化が進行している中、本市においても、想定よりも前倒しで少子高齢化が進んでいる。

事業の目的

- ・本市で子どもを産み、安心して子育てができる環境整備を行う。
- ・子ども達の成長や学びを育み、子どもたちの可能性を広げ、次世代を担い活躍する人材を育成する。

事業の内容

- ・子育て教育先進都市の実現にむけた施策や若者の移住定住の促進に向けた施策
- ・スーパーキッズ育成事業



【村田町（むらたまち）】

〈当地の概要〉

人口	10,257名 ※令和4年11月末日現在 (うち男性5,126名、女性5,131名)
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 重要伝統的建造物群保存地区 ➤ 重要文化財「村田商人やましょう記念館」
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 蔵の町むらた布袋まつり ➤ みやぎ蔵の陶器市
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ そら豆・とうもろこし「味来（みらい）」 ➤ 地酒「乾坤一（けんこんいち）」・仙台牛

〈村田町の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

KPI	現状値	目標値
観光客入込数	500,000人	1,000,000人



重要文化財
旧大沼家住宅



蔵の町むらた布袋まつり



特産品
(乾坤一・味来・そら豆・仙台牛)

【取組事業の概要】

重伝建の蔵の町並み「修理・修景・活用」プロジェクト

事業の背景

江戸後期から商家町として栄えた町並みには、歴史遺産の土蔵がエリア一帯に現存し、国重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

現状の課題

度重なる地震被害により重伝建地区の復旧・補修費用が膨大となっており、郷土の誇りの維持が困難となっている。

事業の目的

伝統的建造物等の修理・修景事業を進め、町並みを活用したまちづくり及び地域活性化を実施。国内外の観光客が周遊できる整備を行う。

事業の内容

- ・重伝建エリア等の土蔵の修理・修景事業、店蔵等の空き店舗利活用。
- ・宮城オルレ「村田コース」の整備、周遊ルート作成など



昭和初期の町並み



現在の重伝建地区



地震被害による土壁崩落

【加美町】

〈加美町の概要〉

人口	21,774名（うち男性 10,747名、女性 11,027名）
名所・旧跡	➤ ●薬菜山，荒沢の水芭蕉 ➤ ●バッハホール
祭り・行事	➤ ●火伏の虎舞（4/29），うめえがすと鍋まつり（2/11） ➤ ●手工弦楽器の響きコンサート（2/11・12）
特産品	➤ ●やくらい山葵，鮎 ➤ ●手工弦楽器（バイオリン、ビオラ）

〈加美町の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

KPI	現状値	目標値
関係人口	475人（R3年度末）	500人（R6年度末）



加美町公式
Instagram

〈よくわかる加美町（動画）〉



YouTube動画



YouTube動画

KCA ～ カミ・クリエイティブ・アカデミー ～

事業の背景

地方創生の取組により社会動態に改善の兆しが！

現状の課題

しかし、人口減少は継続中（特に10後半から20代前半）

事業の目的

人口が減っても**人材が増える町**を目指します

事業の内容

- デジタル技術で地域課題を解決する企業の誘致
- クリエイティブなスキルと考え方を持つ人材育成



本日の資料はこちらから
ご確認いただけます
(加美町公式HP)

【岩沼市】

〈当地の概要〉

人口	43,674人 18,659世帯 ※R4.11.30現在 (うち男性21,606人、女性22,068人)
名所・旧跡	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 竹駒神社 (日本三稲荷) ➤ 金蛇水神社 (金運円満や商売繁盛)
祭り・行事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 竹駒神社 初午大祭 ➤ いわぬま市民夏祭り
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ラーメン、レトルトカレー ➤ とんかつ、牛たん、岩沼とんちゃん ➤ りんご、白菜、きゅうり、米

〈岩沼市の位置〉



〈地域再生計画における数値目標等〉

KPI	現状値 (R3末)	目標値
従業員数 (法人市民税申告書準拠)	16,212人	16,000人
住み続けたいと思う市民の割合 (市民満足度調査)	83.5%	80%
年少人口のいる世帯数 (住民基本台帳)	3,528世帯	3,500世帯
住みよいまちだと思える市民の割合 (市民満足度調査)	92.2%	88%



【PRしたい取組の概要】

1. 「仙台空港周辺地域活性化施設」((仮称) 空の駅) 事業

1) 事業目的

仙台空港を活かした空港周辺地域の賑わい創出や東北の玄関口としての新たな魅力づくり、地域産業の復興支援に向け、地域活性化施設の整備を行う

2) 想定される事業例

▷施設整備・運営：広域観光案内、飲食施設、産地直送販売施設
マイクロモビリティ拠点

▷連携事業：連携施設・空港を拠点としたモビリティサービスの提供

2. ハナトピア岩沼リニューアル事業

1) 事業目的

平成10年に農業振興に資する施設として整備した「ハナトピア岩沼」について、公共施設長寿命化計画や平日の利用ニーズなども踏まえ新たにリニューアルする

2) 想定される事業例

「子どもの笑顔あふれるアグリステーション」として子どもたちが自然を体感しながら五感を育み、人と地域を結ぶ複合施設を整備する



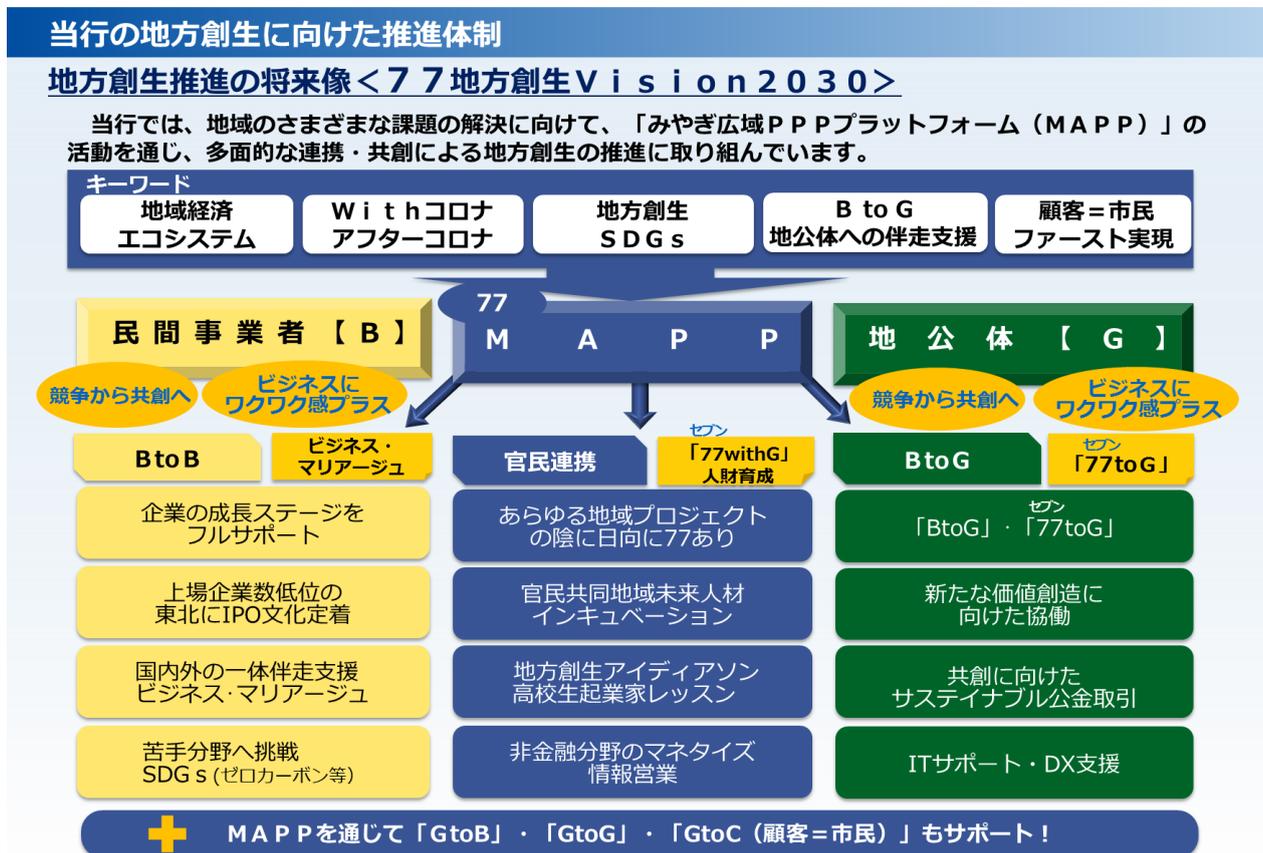
仙台空港周辺



ハナトピア岩沼

(参 考)

〈当行の地方創生ビジョン〉



〈MAPPの座組み〉

